

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		園芸学専攻
科目名称 [英語名称]	空間情報形成学特論 I [Advanced Study of Information and Concept for Space Design I]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	642524	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	岡島 直方				学位授与の方針 との関連	修士課程DP1	
授業概要	空間に力を与えているものには種々のものがあり、かたちのあるものだけが主題となるわけではない。外界に見えている物理的景色が同じであっても、ある種の情報が与えられれば、その景色はたちまち異なった見え方となる。風景が健全で安心できるものとして立っているためには、それを可能とする基盤となる概念がなければならない。しかしそれは実は変わりやすいものである。変わりやすいものを変わりにくいものとして固定化する作用がなければ、技術のイノベーションとともに変化してしまう。かたちになる前の世界について、考えてみたい。						
関連する科目	「造園計画特論」、「地域景観学特論」						
授業の進め方と方法	テキスト、関連書籍などを読みながら進めていく。解釈を確認しながら進める。大学院生としてのテーマは、必ずしも授業計画に登場するものが主題とは限らないであろうから、本人のテーマについても適宜検討を行う。						
授業計画	第1回. はじめに 第2回. 人間と自然 第2回. 人間と樹木1 第3回. 人間と樹木2 第4回. 地面の掘削1 第5回. 地面の掘削2 第6回. 生花 第7回. 予想外の出来事 第8回. 人間と人間 第9回. 非日常のサイン1 第10回. 非日常のサイン2 第11回. 休憩 第12回. ひもを使った実習 第13回. 映画の効果1 第14回. 映画の効果2 テキストの意味を探りながら読んでいく。 第15回. まとめ 全体に関するディスカッションとレポートの提示 (内容は大学院生の興味に応じて変化する。) 						
授業の到達目標	本論で扱う、明治時代に始まった、顕著な空間意識への変化を理解することが出来るようになること。参加型のデザインについて理解すること。ものづくりのプロセスについて新しい潮流に敏感になること。						
授業時間外の学修	各々予習、復習を30分から1時間程度必要とする。						
課題に対するフィードバック	大学院生が選んだテーマについてを主体として、内容のチェックを適宜行う。レポートなどの課題を通じて、フィードバックを行う。			評価方法	受講態度(50点),レポート(50点)		
テキスト	1. "Learning About Relationships", Naokata Okajima]						
参考書	関連書籍..授業のはじめに紹介する。						
備考							